

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名		建設部	都市・建築局	都市計画課
予算科目	予 算	01	一般会計	
	款	02	総務費	
	項	01	総務管理費	
	目	12	生活交通対策費	

事業名	自主運行バス購入事業	事業開始年度	平成 13 年度
	自主運行バスの車両整備	根拠法令 条例 個別計画 等	廿日市市生活交通再編計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整えるための車両整備。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	交通事業者	- 車両購入に係る契約事務 - 適切なメンテナンスと計画的な車両更新の総括

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	【事業概要】 生活交通再編に伴う沿岸部自主運行バス増便への対応及び全市的な車両配置の適正化を図るため必要な車両を購入した。 (おおのハートバス) 現行3車体制 → 4車体制（31人乗りノンステップバス1台購入） (吉和さくらバス) 冬季の安全運行のため交通事業者から要望のある四輪駆動車を導入（12人乗りワゴン車両1台購入） ※現行の吉和さくらバス車両は、佐伯地域の自主運行バス（浅原線 朝夕便）及びデマンド車両として活用し、佐伯自主運行バス車両（34人乗りノンステップ）をおおのハートバス予備車両として活用、既存のハートバス予備車両を廿日市さくらバス車両として活用し増便（2車体制→3車体制）に対応。						
	【歳入】 社会資本整備総合交付金（補助率55%） 14,025,000 円 →大野バス10,423千円、吉和ワゴン3,602千円 自主運行バス購入事業債（合併特例債） 10,900,000 円 →大野バス8,100千円、吉和ワゴン2,800千円 						